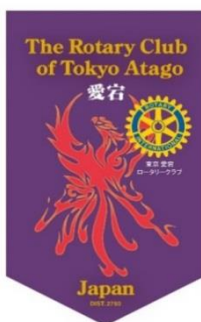


No. 28 2015/3/3

# WEEKLY REPORT 2014～2015



## 東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹  
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次  
副会長 波多野まみ  
例会場 東京アメリカンクラブ  
例会日 毎週火曜日 8:00～

### ～四つのテスト～

1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

2015年3月3日（火）  
今年度第31回（通算67回）例会  
本日のプログラム

### <イニシエーションスピーチ>

株式会社先進知財総合研究所 取締役社長  
愛宕RC職業奉仕委員会 委員長  
石井 知 会員

### ■2015年2月17日 会長挨拶 会長 尾関 勇

私達は小さいクラブですが、行っていることを発信していく必要があります。本日は卓話でもイニシエーションスピーチでもない、ディスカッションの日です。奉仕プロジェクトがスタートしたばかり、また次年度どうしていくのか1年単位で決める必要があります、限られた時間で皆さんのご意見を伺えればと思います。例えば創業支援塾、港区の地域を出て拡大した方がいい、他のロータリアンを巻き込んだ方がいいのでは、などのご意見を頂きたいと思います。本来クラブ協議会にあたる日は、通常ゲストやビジターをお呼びしないのが通例でしたが、ロータリーの奉仕については是非ご意見がありましたら頂きたいと思い、ゲストの方にもご参加頂きました。ロータリーが基本としている5大奉仕（クラブ内奉仕・社会奉仕・職業奉仕・青少年に対する奉仕・国際的な奉仕）に基づき、考えていきたいと思っています。



### <2月17日のプログラム>

#### 東京愛宕ロータリークラブ 「奉仕についてのディスカッション」

##### ①社会奉仕：東京愛宕創業支援塾

「参加者の為になることはどういったことか」を目指した内容で開催。進めていくにあたって、2年目は補助金

は出ないが、継続性はどうか。比嘉）継続性はこの事業自体を補助金がなければできない事業としてしまうと、最初からの設えでは継続が難しい。今回は予算があったので、国際文化会館で開催いたしました。次年度からクラブの予算でも、どんなところでも出来ると思っています。良い事業を開いても参加者がいないと厳しい。そこに関しても、1年目の方を来年度も参加してもらう動員も考えています。

山田）（動員に関し）懇親会時に話したいけど話しかけられない参加者が多く、こちらから積極的に話しかけ、フォローするのが大事だと思います。

塚田）30歳前後の起業を考えている人たちには、発信は口コミがいいと思う。こういったものはアプローチすると裏があるのでは、とデメリットを考えてしまいがち。その口コミを広めるために手法は考える必要はあるかもしれません。

島津）3回目が一番評価が高かったが、最初の段階から、実践的なことを行おうと決めていました。気分を盛り上げてから実践的なことを行い、ゴールは創業支援塾の参加者から創業者がでることです。

##### ②国際奉仕：Seattl Peacemaking Circle (SPC)

佐藤秀）地区のDG補助金を使って国際的なことも行えるため、ほとんどのクラブがDG申請がメインです。

サイ）この事業を通してアメリカと協力することで、今後起こるであろう、日本の移民難民支援にも役立てられると思います。

尾関）アメリカ側からしてみると、移民に対しての問題は日本は非常に遅れているので日本で伝えてほしいと言うのが、彼らが言っていることです。確かに、私達にはその部分のノウハウは全然ないのが事実です。

加藤）物資をあげるのは非常に基本的な奉仕の行為ですが、物をあげるのではなく、自分たちで生活ができるようになる力を付けさせる、それが真の奉仕だと思います。今回のSPCは、彼らがアメリカで生活する力を付けるために協力することになるため、大変意義のあることだと思います。今回GG申請の中のDDF承認が下りましたが、アプリケーションを完成させること自体が大変な労力であり、またアメリカ側との言葉の問題、民族性の違いなど非常にハードルの高いプロジェクトですが、クリアできれば意義があると思います。

佐藤ま）政治的難民も多くが、近年は環境問題で国に住めなくなり、移民にならせざる負えない国の方も多い。移民問題の根底には環境問題もあり、そこをきちんと理解してプロジェクトを進めないと表面だけで終わってしまうこともあります。一度全員で勉強会を開いてもいいかもしれません。



③Shake up Rotary !  
目的は、日頃ボランティア活動に熱心な著名人による講演を行うことで、ロータリアン以外の方をお呼びし、ロータリー自体や私たちの事業を理解して頂き、親睦を深め、また会員増強・ファンダライズにつなげるもの。ロータリーデーとして扱います。  
ロータリーデーとは：地元の人びとにクラブとロータリー全体を紹介するための、楽しい行事を開催し、そうすることで、ロータリーのイメージを向上させ、クラブに入りたいという人たちを増やしましょう、という目的のもとで、設定が推奨されています。

④青少年奉仕：福島若者の夢を育てる国際交流プロジェクト  
島津）前年、皆さんのお力のお蔭で、フランスへの短期留学を実現させていただきました。彼女たちは被災を受けうちに引きこもっているところ、フランスに行くことができ、非常に心穏やかに、社交的にと変化がありました。その効果が周囲の友達、その親、親の友達、と良い効果が加わっていく形になっています。今回フランス留学に参加した高校生の一人が、麻布RC夜間例会で卓話を行う事にもなっています。来年度はホノルルへのホームステイが計画されております。  
佐藤秀）愛宕RCからは今回も10万円くらいの寄付を行えればと思っています。築地RCがメイン、赤坂RCと愛宕RC、財団の復興基金でこの事業を行う予定です。またぜひ、若い福島子どもたちに、少しでも元気を出してもらえればと思いますので、皆さんにもご支援いただければと思います。

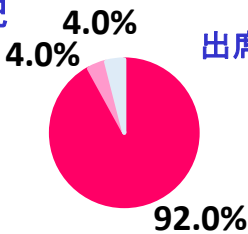
■2月24日・25日 第2750地区地区大会の様子  
サイパンRCの方々とも意義のあるミーティングが行えたようです。例会扱いですので、欠席の方は、メークアップをお願い致します。



◆◆ 出席報告 ◆◆

2015年2月17日 出席状況

- ・会員数 25名
- ・出席者 23名
- ・ビジター 0名
- ・ゲスト 3名



出席率内訳

- 当日出席数(23)
- 修正出席数(1)
- 欠席数(1)

修正出席率  
96.0%

《目標出席率》  
本例会50% 修正100%

◆ニコニコBOX◆ ￥8,000 累計総額 ￥381,480

・本日は入会申込の秋山さんの件、どうぞよろしくお願いいたします。(尾関)・雪と共にただいま。高坂さん、榎本さん、そしてふーこさんようこそ。(石渡)・奈良オリエンタルフェスティバル大成功でした。ありがとうございます。(山田)・おはようございます。今日の協議が有意義なものとなりますように。(塩沢)・ニコニコ(片山)・支援塾おつかれさまでした。皆様には感謝感謝感謝です！(島津)

3月のプログラム

- 3/10(火)イニシエーションスピーチ: Paul Tsai 会員(フィデリティ投信株式会社調査部長、愛宕RC国際奉仕委員長)
- 3/17(火)卓話: 西岡慎也様(株式会社ファッションスタylist日本代表取締役)
- 3/24(火)卓話: 寺田朗子様(国境なき子どもたち会長)
- 3/31(火)休会(規定による) <7:45~8:15 メークアップ対応あり>

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

<http://atagorotary.com/>

